

水質基準等と「おいしい水」の要件等の水質目標(案)

	項目(注1)	単位	水質基準値等	厚生省の研究会(注2)	東京都の水質目標	横浜市の水質目標	備考	県水道局の水質(注3)	絞込みの考え方(案)	目標設定検討項目(注4)
におい	臭気	—	異常でない	—	—	—	臭気が異常でない	異常なし	感覚的な項目であり目標の設定にはなじまない。	
	残留塩素	mg/l	0.1以上 1.0以下	0.4以下	0.4以下	0.4以下	ほとんどの人が塩素の臭いを感じない濃度	0.8	現状、比較的高い濃度であるため目標項目とすることが必要と思われる。	○
	トリクロロミン	mg/l	—	—	0	—	カルキ臭といわれるが、測定法が定まっていない	—	検査方法が明確でないため、今後の検討課題とし、調査検討を進める。	△
	臭気強度	度	3以下	3以下	1	1以下	普通の人が臭いを感じない水準	1以下	国や他事業者の目標を満足しているが、「においの指標」として目標項目とすることが適当と思われる。	○
	2-メチルイソボルネオール	ng/l	10以下	—	0	0	かび臭の原因で高いと感じる	2以下 (注5)	当局の水源状況を考慮し、「においの指標」として目標項目とすることが適当と思われる。	○
ジェオスミン	ng/l	10以下	—	0	0	2以下 (注5)				
味	味	—	異常でない	—	—	—	味が異常でない	異常なし	感覚的な項目であり目標の設定にはなじまない。	
	硬度(カルシウム、マグネシウム等)	mg/l	300以下	10~100	—	—	味をおいしくする要素(適度に含まれることが必要)	83	国の目標を満足しているため、また、通常の浄水処理では処理できない水源由来の項目のため目標項目とするのは難しいと考えている。	
	遊離炭酸	mg/l	20以下	3~30	—	—	味をおいしくする要素(さわやかな味)	4	同上	
	蒸発残留物	mg/l	500以下	30~200	—	—	味をおいしくする要素(多いと苦味)	189	同上	
	過マンガン酸カリウム消費量	mg/l	5以下	3以下	—	—	有機物の多い水は渋みがある	1.5	国の目標を満足しているが、水源や浄水処理の状況で変動する項目であることから、「味の指標」として有機物(TOC)を目標項目と考えている。(次回の利き水の結果による)	△ (TOC)
	有機物(TOC)	mg/l	5以下	—	1以下	0.5以下		0.9		
水温(最高)	℃	—	20℃以下	—	—	体温に比べ 20~25℃低い時がもっともおいしく感じる	17.8 (最高28.9)	当局での制御は困難であるため、目標項目とするのは難しいと考えている。		
外観	色度	度	5以下	—	1以下	目で見て色や濁りがわからない	1以下	「おいしい水」の要件項目ではないが、水道水の「基本項目の指標」として、目標項目とすることが必要と思われる。	○	
	濁度	度	2以下	—	0.1以下		0.1以下			
その他	鉛	mg/l	0.01以下	—	—	0.001以下	より安全で安心して飲める観点	0.001以下	安全でおいしい水づくりに向けて、局ができる範囲で目標設定を検討する。	△
	総トリハロメタン	mg/l	0.1以下	—	—	0.015以下		0.027		

注1:おいしい水に関すると考えられる水質基準項目及び水質管理目標設定項目を挙げた。

注2:昭和60年に厚生省の「おいしい水研究会」から提言

注3:給水栓27箇所の平成16年度平均値

注4:目標設定検討項目の記号 ○=設定可能項目 △=調査検討項目

注5:2-メチルイソボルネオール及びジェオスミンの当局の検出下限値は2ng/l